



全日本選手権・コンバインド、前半ジャンプ3位からの逆転で大会史上初の3連覇を遂げた永井秀昭選手(岐阜日野自動車、田山中卒)。続いて行われた宮様スキー大会国際競技会の同競技でも3連覇を果たした

※スノーパージョイスアントスラロームの略

No.67
広報クイズ
 4月7日号の問題
22年度の市内小・中学校の卒業生の数は

全国高等学校選抜スキー大会
 ●ノルディック(2月18〜20日、岐阜県・高山市)
 ■スペシャルジャンプ
 ◆女子③小林諭果(盛岡中央、松尾中卒)
全日本学生スキー選手権大会
 (2月18〜24日、秋田県・鹿角市) ※1部のみ
 ■アルペン
 ◆女子▽ジャイアントスラローム④新里尚子(東海大、西根中卒)▽スノーパージョイス①新里尚子
 ■クロスカントリー

全日本スキー選手権大会
 ●アルペン(スノーパージョイス) (2月22、23日、長野県・白馬村)
 ◆女子⑥新里尚子
 ●ジャンプ(2月25〜27日、長野県・白馬村)
 ◆男子▽クラシカル30歳⑩高橋涼(東京農業大、松尾中卒)リレー(4×10歳)②東京農業大(高橋涼ほか3人)⑦東海大(落安陵〔松尾中卒〕ほか3人)⑧スペシャルジャンプ
 ◆男子①小林潤志郎(東海大、松尾中卒)
 ■コンバインド
 ▼5歳①小林潤志郎

岩手高原全日本学生アルペン大会
 (2月27日〜3月5日、雫石町)
 ◆男子▽スラローム第2戦③高橋翔大(法政大、松尾中卒)▽ジャイアントスラローム第1戦⑤松島裕也⑥高橋翔大▽スノーパージョイス第1戦①松島裕也
 ◆女子▽スラローム第1戦③

JOCジュニア五輪カップ・全日本ジュニアスキー選手権大会
 (3月9〜11日、新潟県妙高市)
 ■スペシャルジャンプ
 ◆男子▽中学生③小林陵侖(松尾)
 ■コンバインド
 ▼中学生①小林陵侖

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
 ●応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。答えのほかに、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
 ●応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき〒028-7192(住所不要) ☆FAX 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp (タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は右の二次元コードから送信できます)
 ●応募期限 5月6日(金) 消印有効
 ●第66回の正解 「1人」 ◎応募者数 9人 ◎正解者数 9人
 ◎当選者 田頭渚さん(大更)、工藤和子さん(松尾)、高橋スミさん(松尾寄木)

Sports

市内選手が大活躍

各種スキー大会の入賞者(所属は3月末現在)

◆男子▽ラージヒル⑥小林潤志郎▽ノーマルヒル⑥小林潤志郎⑨遠藤秀治(清光社、松尾中卒)
 ●コンバインド(2月26〜28日、長野県・白馬村)
 ①永井秀昭(岐阜日野自動車、田山中卒)

宮様スキー大会国際競技会
 (3月3〜6日、北海道・札幌市)
 ■アルペン
 ◆男子▽スラローム①小山田翔(東海大、松尾中卒)
 ■スペシャルジャンプ
 ◆男子▽ノーマルヒル③小林潤志郎▽ラージヒル①小林潤志郎

工藤詩乃(東北学院大、田山中卒)▽同第2戦①工藤詩乃▽ジャイアントスラローム第1戦①山崎野乃花③工藤詩乃⑥大森真弓(平館高)▽スノーパージョイス第1戦①山崎野乃花▽同第2戦①山崎野乃花

胃・大腸がん検診 受診をお忘れなく
 4月から本年度の胃がん・大腸がん検診が始まりました。対象者(胃がんは40歳以上、大腸がんは35歳以上)は忘れずに受診しましょう(日程については、各世帯に配布の日程表、広報はちまんたいお知らせ号・暮らしの情報カレンダーを確認ください)。
 ◆日本人が一番多くかかる胃がん
 日本人がかかるがんで罹患数(病気と診断された数)の一番多い「胃がん」ですが、最近では死亡率、罹患率ともに減少傾向にあるといわれています。
 胃がんにかかるリスク要因には、塩分の摂り過ぎや多量飲酒、喫煙などが挙げられます。過食や早食いもリスクを高めるといわれています。また、胃の中にすみつく細菌の胃粘膜に住みつくと細菌として知られているピロリ菌の感染が関係していることが分かっています。
 ◆女性のがんによる死因第1位「大腸がん」は肺がんや膵



臓がんなどとともに日本人では男女ともに増加傾向にあり、女性のがんによる死因の第1位となっています。
 原因としては、食生活の変化が挙げられています。食の欧米化により、高脂肪、低食物繊維の食事が中心に変わったことが大きいと考えられています。
 ◆早期発見が命を守ります
 風邪などと違い、がんは初期症状がほとんどありません。はつきりとした症状が出た時には、すでに手遅れといった状態も少なくありません。胃がんや大腸がんは、検診で見つけやすく、早期に発見・治療すれば治る確率が高くなります。

保健のひろば
 ☎・内線1151 市役所保健課

環境のみらい
 ☎・内線1137 市役所市民課

福社 NETWORK

介護のココロ
 ☎・内線1185 市役所長寿社会課

犬のフンの処理は飼い主の務めです

◆「介護マーク」で安心介護
 認知症患者の介護は、他の人から見ると分かりにくいので、介護で異性のトイレに入るときなどに誤解や偏見を持たれることがあります。また、男性介護者の場合、女性用の下着を買いに行くことができないなど、女性介護者とは違う悩みもあります。そこで、介護者が安心して介護に専念できるように「介護マーク」を作りました。同マークは、市地域包括支援センター(市役所長寿社会課内)で発行しています。担当ケアマネジャーを通して発行もできます。男性介護者を中心に、ぜひご活用ください。
 また、認知症や介護保険など、高齢者に関する悩みは市地域包括支援センターへご相談ください。

これが「介護マーク」の名札です

◆地域の環境美化にご協力を
 例年、雪融けとともに、道路脇に空き缶やペットボトル、犬のふんなどが目につくようになります。ポイ捨てやふんの放置をする人は「自分は気にしないから」「他の人が片付けてくれるから」と言うような考えだからだと思います。その一方で不快に思ったり迷惑を被っている人がいます。誰もが快適な環境を送ることができるよう、次のことを実践してください。

- ①ゴミは持ち帰って適正に処分する(ポイ捨て厳禁)
- ②タバコを吸う人は、喫煙所や携帯灰皿を利用して、吸い殻は持ち帰る(歩きタバコは危険です)
- ③ペットの散歩にはシャベルや袋を持ち歩き、ペットのふんは持ち帰る。
- ④不法投棄は犯罪です。特に7月のテレビのアナログ放送終了に伴い、テレビの買い換えが増えますが、テレビや冷蔵庫などを廃棄するときは、リサイクル料金を支払って適正に処分してください。